

特集 アンチエイジング・各社動向

アンチエイジング・各社動向

OEM供給だけでなく
原料販売開始

日本EGF協会認定のEGF配合化粧品をOEM供給する株式会社バイオリック販売では、今年1～4月の4ヶ月間のEGF配合化粧品の総販売個数が10万個になったと発表した。これは同社昨年1年間での販売個数に匹敵する。同社では今年1年間の販売個数を40万個と予想しており、そのほとんどが日本EGF協会の認定OEM商品であるという。今年になってから、新規OEMメーカーが10件増え、昨年からのOEMメーカーのリピートも順調だという。

同社の辻代表は「毎週3、4社からのオファーがあるが、現行のOEMメーカーのフォローに多くの時間を費やすため、なかなか手が回らない。そのため一部原

料販売を開始した。ただし、販売した原料でつくられた製品については、どのような濃度や製法で商品が出来るのか不明なため、EGF協会認定は受けられない。」とコメントする。

協会認定のために使用する原料は唯一医薬品GMP施設で製造されたE.Coli由来の凍結乾燥粉末で、生理活性、AMES試験、残留遺伝子試験などのエビデンスがある中国産原料。

原料販売は中国産EGF原料でも、GMP施設以外で作られたもののみ行う。価格は、加工しやすい10ppm濃度無色透明液体原料100mL（生理活性1,000,000IU以上）で3～4万円、生理活性の安定した1mg凍結乾燥粉末（生理活性1,000,000IU以上）で3～4万円となっている。E.Coli由来の無色透明の液体原料は国内販売では初となる。